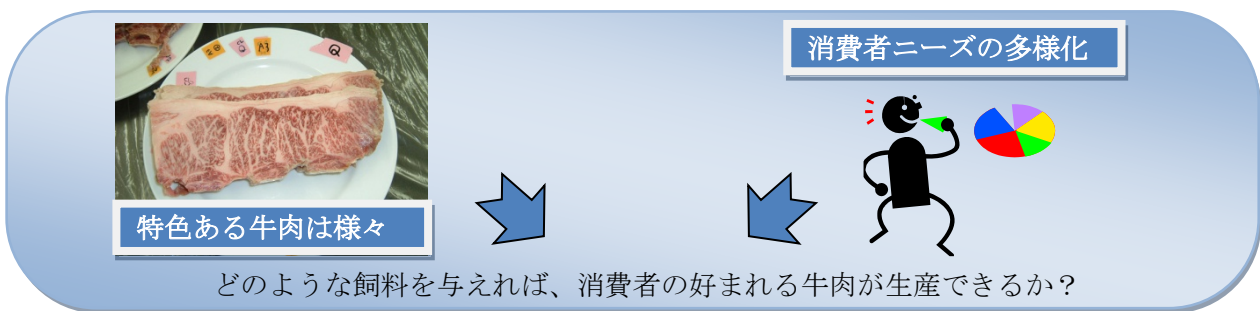
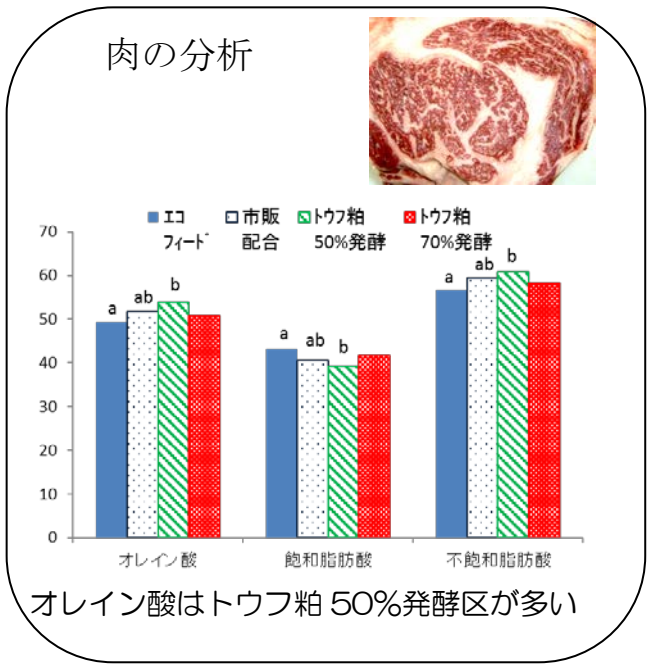
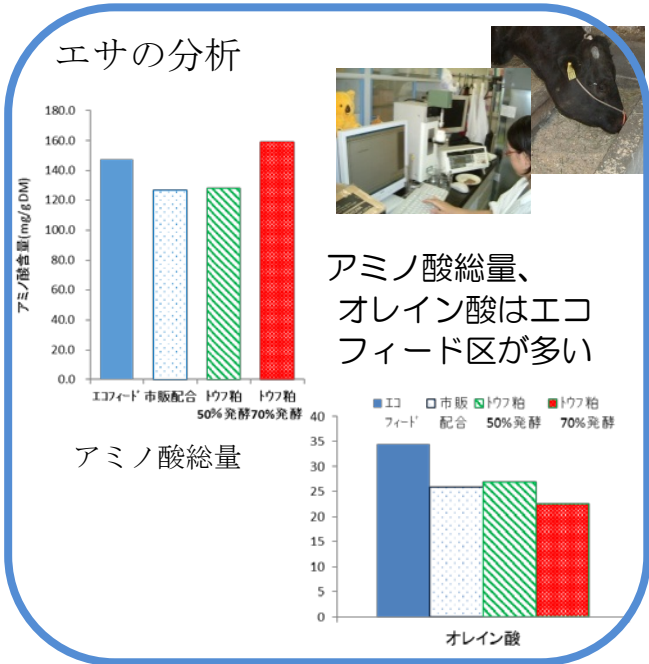


# 異なる飼料を給与することでアミノ酸や脂肪酸組成の異なる牛肉が生産できる

成果の要約 給与飼料の異なる牛肉の成分を比較した結果、アミノ酸総量はエコフィード区が多かった。飼料中の脂肪酸組成ではオレイン酸、飽和脂肪酸はエコフィード区が最も高かったが、筋間脂肪のオレイン酸、不飽和脂肪酸の割合は、トウフ粕50%発酵区が最も高かった。これらのことから、異なる飼料を給与することで、アミノ酸含量の多い牛肉や脂肪酸組成の異なる牛肉が生産されることが示唆された。



そこで飼料（エサ）の成分と牛肉の成分値を調査して比較した



異なる飼料でアミノ酸量や脂肪酸組成が違う牛肉が生産できる